

問1 衆議院議員選挙において、小選挙区制と比較した際の比例代表制の利点として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 二大政党制になりやすく、政権が安定しやすくなる。
2. 有権者が候補者個人の資質や実績を直接判断して投票しやすい。
3. 死票（当選に結びつかなかった票）が少なくなり、少数意見が政治に反映されやすくなる。
4. 選挙区が小さいため、候補者と有権者の距離が近くなり、地域の要望を伝えやすい。

問2 日本の政党政治において、政権交代が可能な体制が重要視される理由として、野党の存在意義の観点から説明した文として正しいものはどれですか。（2022年 徳島公立入試 類似）

1. 特定の政党が長期にわたって政権を独占し、政治が腐敗するのを防ぐため。
2. 国会の議席をすべて野党が占めることで、法律の制定を速めるため。
3. 首相（内閣総理大臣）を世襲によって決定する仕組みを維持するため。
4. 選挙を行わずに、話し合いだけで政権担当者を選ぶため。

問3 選挙の四原則の一つである「秘密選挙」において、投票用紙に自分の氏名を記入しない「無記名投票」が徹底されている理由として、最も適切なものはどれですか。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. 投票者の意思が外部からの圧力や干渉によって左右されることを防ぎ、自由な投票を保障するため
2. 一定の年齢に達したすべての国民に、財産や性別を問わず等しく選挙権を認めるため
3. 有権者が代表者を直接選ぶことで、民意を政治により正確に反映させるため
4. 投票にかかる時間を短縮し、開票作業を効率化して選挙費用を節約するため

問4 ある選挙制度の統計資料において、「当選者の得票合計が全体の約4割であるのに対し、残りの約6割は議席に結びつかない票（死票）となっている」という分析がありました。このような現象が特に顕著に現れる選挙制度の名称と、その理由として正しい組み合わせを選びなさい。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 小選挙区制 — 各選挙区で当選できるのが得票数1位の1人だけであるため、次点以下の候補者への票がすべて切り捨てられるから。
2. 比例代表制 — 各政党の得票率に応じて議席が配分されるため、端数の票がすべて死票として処理されるから。
3. 大選挙区制 — 1つの選挙区から複数の議員を選ぶため、当選者の数に比例して死票の割合が増加するから。
4. 小選挙区比例代表並立制 — 2つの異なる制度を組み合わせることで、得票計算が複雑になり死票の判定基準が厳しくなるから。

問5 日本の選挙制度における「普通選挙」の原則に基づき、現在実施されている仕組みとして正しいものはどれですか。（2024年 群馬公立入試 類似）

1. 満18歳以上のすべての国民に、納税額にかかわらず選挙権を認める仕組み
2. 一人の有権者が一票を持ち、その一票の価値を等しく扱う仕組み
3. 有権者が代表者を直接選ぶのではなく、代表を選ぶ人（選挙人）を先に選ぶ仕組み
4. 誰が誰に投票したかを他人が知ることができないよう、無記名で投票する仕組み

問6 日本の選挙において、各政党が「マニフェスト（政権公約）」を作成して公表することの目的として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 兵庫公立入試 類似）

1. 政策の実施時期や財源の裏付けを明示することで、有権者が政策の具体性を判断し、事後の検証を可能にするため
2. 地方公共団体の首長や議員が不適切な行動をとった際に、任期が終わる前に辞職させる手続きを定めるため
3. 消費者が訪問販売などで不意に契約を結んでしまった場合に、一定期間内であれば無条件で解約できるようにするため
4. 国会の多数派を占める政党が、憲法改正の発議を行うための具体的な手順を国民に周知させるため

問7 日本の衆議院議員選挙で行われている選挙制度について、有権者は2種類の投票を行います。一方は、投票用紙に候補者名を記入して一つの選挙区から一人の代表を選ぶ方式であり、もう一方は、投票用紙に政党名を記入して各政党の得票数に応じて議席を配分する方式です。この二つの仕組みを組み合わせた制度の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 小選挙区比例代表並立制
2. 大選挙区制
3. 中選挙区制度
4. 単記移譲式比例代表制

問8 日本における選挙制度の変遷と現在の仕組みについて述べた文のうち、2016年の法改正によって新たに生じた変化として正しいものを選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 公職選挙法が改正されたことで、選挙権を持つ年齢が満18歳以上に引き下げられた。
2. 日本国憲法が改正されたことで、満18歳以上の全ての国民に参政権が保障された。
3. 教育基本法が改正されたことで、中学校からの「主権者教育」が義務化された。
4. 民法の改正により、国政選挙への立候補が可能な年齢（被選挙権）が満18歳以上に引き下げられた。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 3</b> 死票（当選に結びつかなかった票）が少なくなり、少数意見が政治に反映されやすくなる。	比例代表制は、有権者が政党に投票し、その得票数に応じて議席を配分するため、1位の候補者だけが当選する小選挙区制に比べて「死票」が少なくなる傾向があります。これにより、規模の小さな政党であっても議席を獲得できる可能性が高まり、多様な国民の意見を議会に反映させやすいという特徴があります。
問2	<b>答え 1</b> 特定の政党が長期にわたって政権を独占し、政治が腐敗するのを防ぐため。	複数の政党が競い合い、選挙の結果次第で野党が政権を担う「政権交代」の可能性があることは、政治に緊張感をもたらします。これにより、政権を担う与党が国民の支持を失わないよう公正な政治を行う動機付けとなり、長期政権による独善的な政治や腐敗を防ぐ効果があります。このように、野党は常に「次期政権の担い手」としての準備を整えておくことが期待されています。
問3	<b>答え 1</b> 投票者の意思が外部からの圧力や干渉によって左右されることを防ぎ、自由な投票を保障するため	もし誰に投票したかが他人に知られてしまうと、職場や地域社会で立場が強い人から特定の候補者への投票を強要されたり、投票後に報復を受けたりする恐れがあります。このような事態を避け、有権者が自らの良心に従って自由に一票を投じることができる環境を守るために、無記名による秘密選挙が不可欠とされています。
問4	<b>答え 1</b> 小選挙区制 — 各選挙区で当選できるのが得票数1位の1人だけであるため、次点以下の候補者への票がすべて切り捨てられるから。	小選挙区制では、1つの選挙区からたった1人しか当選しないため、当選した候補者以外に投じられた票はすべて死票になります。これにより、たとえ多くの支持を得たとしても、2位以下の候補者の意見は議会に反映されにくくなります。この性質は、少数意見の反映を重視する比例代表制とは対照的な特徴です。
問5	<b>答え 1</b> 満18歳以上のすべての日本国民に、納税額にかかわらず選挙権を認める仕組み	参政権の付与条件から、性別・財産・身分といった差別的要素を排除するのが普通選挙の目的です。他の選択肢にある「一票の価値を平等にする」のは平等選挙、「有権者が直接代表を選ぶ」のは直接選挙、「投票の秘密を守る」のは秘密選挙の原則にそれぞれ該当します。日本では公職選挙法によって、これら4つの原則が厳格に守られています。
問6	<b>答え 1</b> 政策の実施時期や財源の裏付けを明示することで、有権者が政策の具体性を判断し、事後の検証を可能にするため	マニフェストは、単なる願望やスローガンではなく、政権を取った際に「いつまでに」「どのような財源で」政策を実行するかを具体的に示した文書です。これにより、有権者は選挙時に各政党を比較しやすくなり、また選挙後には公約がどの程度達成されたかを客観的に評価できるようになります。これにより、人物本位ではなく政策本位の選挙を実現することが期待されています。
問7	<b>答え 1</b> 小選挙区比例代表並立制	衆議院議員選挙では、候補者個人の名前を書いて投票する小選挙区制と、政党の名前を書いて投票する比例代表制が同時に行われています。小選挙区制は289議席、比例代表制は176議席で構成されており、これら二つの仕組みを並行して運用するため「並立制」と呼ばれます。投票の際は、候補者名を書く用紙と政党名を書く用紙の2枚を受け取ることとなります。
問8	<b>答え 1</b> 公職選挙法が改正されたことで、選挙権を持つ年齢が満18歳以上に引き下げられた。	日本の選挙権は、1945年の法改正で「満20歳以上の男女」に認められて以来、長くその基準が維持されてきました。しかし、2016年に公職選挙法が改正されたことで、現在は「満18歳以上」の国民に選挙権が認められています。なお、衆議院議員（満25歳以上）や参議院議員（満30歳以上）といった立候補に必要な「被選挙権」の年齢については、この時の改正では変更されていません。